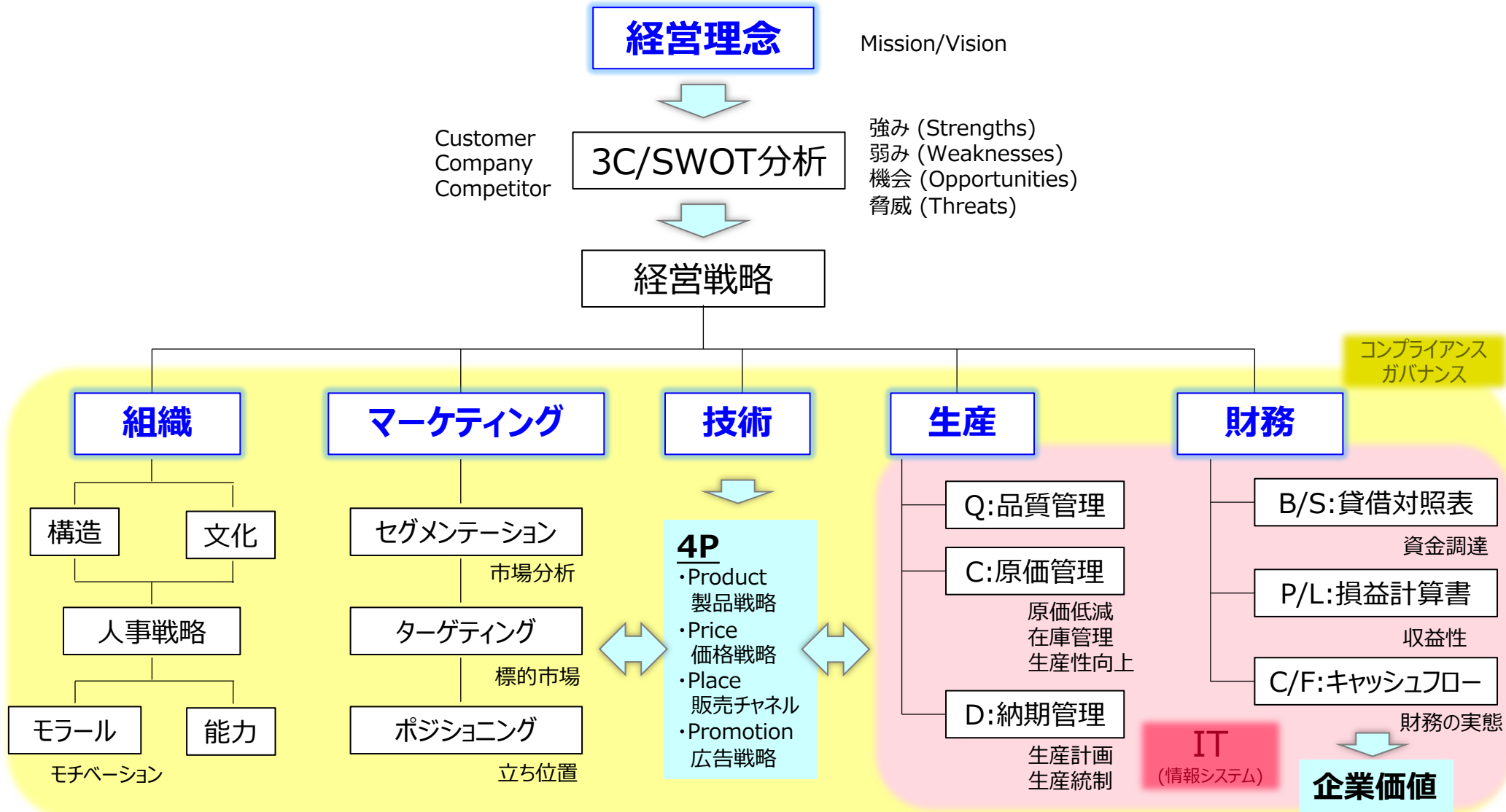


私が考える会社全体のマネジメント



個々人の仕事はこの中のどこかにかかわっていると考えています。
この全体を実現するために個々に何をするかを構築していきます。

マネジメントの変遷

機械的管理と人を活かすアプローチが往き来
 今後は**学習する組織**が重要と考えます

出典：「マネジメントの世紀」 スチュアート・クレイナー

章	年	章タイトル	代表的人物	抜出・コメント等
1	1901-1910	ストップウォッチ・サイエンス 「科学的管理法」の登場	アンリ・ファヨール フレデリック・テイラー	・ マネジメントが初めて定義 された ・分析と 機械的管理
2	1911-1920	モダン・タイムス フォードの大量生産ライン	ヘンリー・フォード ギルブレス夫妻	・ コストの追求 から コントロールの追及 へ ・科学的管理法、動作の研究
3	1921-1930	組織の発見 アルフレッド・スローン(GM)の経営モデル	マックス・ウェーバー チェスター・バーナード	・産業成長による 人間性の喪失 ・ 組織的思考 ・事業部部門制
4	1931-1940	人間の発見 ホーソン実験と動態的管理	エルトン・メイヨー メアリー・パーカーフォレット	・ 協力しながら仕事をしたいという欲求 ・ 人間的側面の認識 、エンパワーメント
5	1941-1950	戦時中の教訓 品質管理と日本の再生	森田昭夫／井深大 松下幸之助	・戦争による近代的経営と製造の基礎の獲得 ・経営への 人間的良心の組み入れ
6	1951-1960	夢の生活 マーケティングの興隆と人間関係学派	P・ドラッカー/P・コトラー セオドア・レビット エイブラハム・マズロー	・マーケティングの誕生、市場への結合プロセス ・製品の生産ではなく、 顧客創造と価値提供 ・動機付けの研究と 自己実現の欲求
7	1961-1970	戦略の理解 ドラッカー、チャンドラー、アンゾフ、ミンツバーグ	クラウゼヴィッツ／孫子	・ 目的による管理(MBO) 、 戦略と組織 ・軍事戦略からのアプローチ
8	1971-1980	組織的な麻痺 ヨーロッパ型の企業経営	アルビン・トフラー トム・ピーターズ	・経営の自己満足への批判 ・ 最良の組織手法 の探索
9	1981-1990	エクセレントな冒険 日本的経営への注目	E・デミング/大前研一 マイケル・ポーター R・M・カンター/W・ベニス	・品質管理 ・非合理/非線形の思考 ・ 競争戦略 (5 forces, 3 generic strategies) ・人間の再発見(リーダーシップ の研究)
10	1991-2000	新しいパワーバランス ABB、GE、トヨタ、デル	ジャック・ウェルチ 豊田喜一郎/大野耐一	・破壊 ⇒ 創造(ワークアウト) ⇒ 品質(シックスシグマ) ・リーン生産、革命的ではない簡潔な原理
11	2000-	マネジメントの現状 21世紀に向けて	ピーター・センゲ A・D・グース/J・コリンズ	・ 学習する組織 、 能力を継続して高める 集団 ・ 価値観 の追求 ・企業の寿命,変化に対応

企業が繁栄を続ける ⇒ 組織の学習する能力を高める (**絶え間なく新たな価値を生む**)

なぜなら、
・優れた技術もすぐに追いつかれる
・ユニークな製品もすぐに真似をされる
・コストも急激に低下
・物も情報も日々陳腐化

ここで言う「学習」とは？

単なるスキルやノウハウの習得や、与えられた環境下での最適解の模索 ではなく、
環境の変化に対応して、

**新たな知識、技術、行動、思考、態度、価値観、世界観、理想を
自ら獲得したり、創出**すること

「価値ある知識」とは、

個人の真摯な洞察や直感を組織全体で有効利用するプロセスから生成される

そのための、考え方や方法論は、漠然としたままで、成功例は少ないと言われている

1970年代 **クリス・アージリス**が「**学習する組織**」を提唱

1990 **ピーター・センゲ**が概念を体系化、「The Fifth Discipline」(1994)

「ラーニング・オーガニゼーションは、発明されたがイノベーションまで到っていない」

1991 **野中郁次郎**「**知識創造企業**」

1997 アリー・デ・グース「リビングカンパニー」

「**どのような考えでも アイデアでも どこかで だれかが 既に考えている**」



私は、この「学習する組織」を創ることを、**理論だけではなく実践したい**と考えている

(デイビッド・ウルリッヒ & ノーム・スモールウッド「組織能力の経営論 ; 組織能力の評価法」)

1. **能力と意欲の高い人材**を集め、その能力を引き出し、定着させる
2. **スピーディーに変革を進める**
3. 社員と顧客の両方が会社への好感度を抱き、かつ双方に一貫したイメージと経験を与える
4. 社員に高い成績を上げさせる
5. 効率性と柔軟性を得るために、**社内の壁を越えて協働**する
6. **インパクトのあるアイデアを発想**し、普及させる
7. **組織のどこにでもリーダーを育てる**
8. 対象顧客との間に長期的な信頼関係を築く
9. **長期的な戦略を策定**し、これを**共有する**
10. 商品であれ、ビジネスであれ、**新しいことを始める**
11. コスト削減が得意である

